

宇野千代と馬込文士村



実は、馬込文士村の誕生に 宇野千代が関係していた！



宇野千代と住んだ家の前を歩く尾崎士郎
郷土博物館所蔵

夫・尾崎士郎との新婚生活を馬込で送り、 社交的な尾崎のもとに文士たちが集まる

大正11(1922)年に作家・尾崎士郎と出会い一目惚れ。翌年2人で馬込に居を構え、大正13(1924)年に結婚。尾崎士郎が多くの作家仲間を馬込に呼び寄せたことが、馬込文士村誕生のきっかけの一つだと言われています。大森駅前にある天祖神社脇に上る階段のレリーフには、2人が暮らす家は文士でにぎわい、「馬込放送局」と呼ばれていたと書かれています。

宇野千代・尾崎士郎夫婦と関係の深かった文士たち(一例)



馬込文士村でモダンガールが流行ったのは宇野千代がきっかけだった！

大正末期から昭和初期(1920～30年代)にかけて都市部で流行していた「モダンガール」を馬込村でいち早く取り入れたのは宇野千代だったと言われています。大森駅前にある天祖神社脇に上る階段のレリーフには、文士村の女性たちが相次いで断髪、モダンガールは馬込村の人々を驚かせたと書かれています。

宇野千代自筆原稿「私は断髪の第一号か」郷土博物館所蔵



「モダンガールの間で流行したボブヘアに日本で最初にしたのは私だと思っていた」と書かれた宇野千代自筆の原稿も残っています。(郷土博物館で11月29日まで展示中)



宇野千代著『おはん』
昭和32年
中央公論社
郷土博物館所蔵

小説家

24歳の時に「脂粉の顔」が懸賞小説で1等になりデビュー。
『おはん』はドラマ化・映画化され、「生きて行く私」は100万部を超すベストセラーに。



宇野千代って どんな人？

(株)宇野千代提供

着物 デザイナー

52歳の時に「宇野千代きもの研究所」を設立。着物のデザインには、彼女が好みとした桜をモチーフにしたものが多い。

編集者

39歳の時に日本初の女性ファッション誌『スタイル』を創刊。「スタイル」を創刊して女性ファッション誌の先駆けとして爆発的な人気を集めた。



宇野千代編集
『スタイル』第6巻第3号 昭和16年
郷土博物館所蔵

宇野千代関連の イベント・スポット

連続テレビ小説「ブラッサム」 トークイベント(NHK首都圏局共催)

「ブラッサム」出演者高良健吾氏、木竜麻生氏が登壇します。終了後、馬込文士村ガイドの会によるまち歩きイベントを行います。スマイル大森をスタートし、宇野千代・尾崎士郎の解説板や郷土博物館などを含む散策コースを案内します。また、会場では馬込文士村に関するパネルを展示します。

- 11月28日(土)①トークイベント＝午後2時～3時
- ②まち歩きイベント＝午後3時30分～4時30分
- スマイル大森
- 抽選で①380名②30名程度
- 電子申請。①11月6日②11月13日締め切り

大田文化の森で特別展示を開催中！



宇野千代の年表や馬込文士村に関するパネルの展示、馬込文士村ガイドアプリ「まごめぐり」の特設ARフォトスポットもあります。

期間限定で、連続テレビ小説「ブラッサム」(NHK)の番組紹介パネルも展示しています。(NHK首都圏局主催)

- 令和9年3月31日(水)まで、午前9時～午後7時※休館日を除く
- 大田文化の森

問文化芸術推進課文化芸術推進担当 TEL 5744-1226 FAX 5744-1539 詳細はコチラ▶



特集展示「没後30年 宇野千代の華麗なる世界」 学芸員講座・見どころ解説

馬込文士村の成立や笑いに満ちたと言われている馬込での生活の一端を講座で紹介し、特集展示「没後30年 宇野千代の華麗なる世界」の見どころを解説します。

- 10月24日、11月21日(土)午後1時30分～3時30分 園先着各15名 問台先へ電話
- 問郷土博物館 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283



馬込時代の尾崎士郎
郷土博物館所蔵



藤村千代著「脂粉の顔」
大正12年 改造社
郷土博物館所蔵

郷土博物館のイベントは8面へ

馬込文士村周辺のまち歩きがもっと楽しくなる！

馬込文士村ガイドアプリ「まごめぐり」



スマートフォンでのルート案内に加え、音声ガイド、AR技術を活用した体験型コンテンツや謎解きなど、馬込文士村の魅力を満喫できる機能が盛りだくさん。ノベルティもあります。「まごめぐり」で馬込文士村のまち歩きを楽しみませんか。



謎解き



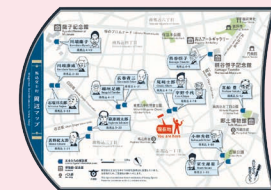
AR体験



詳細は
コチラ▶

文士村サインがリニューアル！

馬込のまちを巡って文士村博士をめざしませんか。愛着のあるイラストはそのままに、情報とデザインをリニューアル。また、「まごめぐり」と連動して音声ガイドなどのコンテンツが楽しめます。



周辺マップ



文士たちの解説板

問都市計画課計画調整担当 TEL 5744-1333 FAX 5744-1530

おおたの文化・歴史に注目が集まる今

OMAISEN PROJECT 進行中！

「OMAISEN」は、大森(O)、馬込(MA)、池上(I)、洗足池(SEN)の頭文字を組み合わせた言葉です。大森・馬込洗エリアを中心に、文化資源の掘り起こしや、まちの歴史や魅力を再発見できるイベントなどを実施しています。



詳細はコチラ▶



OMAISEN PROJECTは

まだまだ続きます！

勝海舟にさらに注目！



大森貝塚発見150年！



池上線・東急多摩川線
「きになる電車」

走行中の復刻デザイン車両に宇野千代や馬込文士村に関するポスターを掲出中！



大河ドラマなど、勝海舟にも注目が集まっています！

大河ドラマ「逆賊の幕臣」は勝海舟と同時期に活躍した幕臣・小栗上野介忠順が主人公の物語です。洗足池畔には海舟夫妻の墓所や、海舟の生涯を学べる「勝海舟記念館」があります。



大森貝塚は、大田区と品川区にまたがる縄文時代後期から晩期(約4000～3000年前)の貝塚で、令和9年には発見から150年を迎えます。

関連イベントは8面へ▶